

# (仮称) 大阪新美術館 基本設計の概要



【外観イメージ】



【内観イメージ】



【外観イメージ (夕景)】

## さまざまな人と活動が交錯する都市のような美術館

### 新美術館のめざす姿

- 1 国内外から注目を集め世界に誇れる美術館**  
第一級のコレクションの魅力を引き出すコレクション展示室や、さまざまな展覧会にもフレキシブルに対応できる関西最大級の企画展示室を備えます
- 2 これまでにない独自性を有する先進的な美術館**  
豊富なコレクションによる芸術体験の提供やアーカイブを活用した情報発信、さらには黒い直方体が浮かび上がるような創造性に富んだ建築デザインにより、新たな魅力を創造する美術館をめざします
- 3 賑わいあふれたまちづくりを主導する美術館**  
魅力的なサービス施設やオープン空間を備え、幅広い世代の人が楽しめる施設とするとともに、歩行者デッキの新設など周辺施設との連携や都市景観の形成にも配慮します
- 4 将来にわたり質の高い公共建築として利活用される美術館**  
来館者をはじめ、展覧会の企画運営を担う学芸員、施設の管理運営を担う事業者などすべての人に利用しやすく機能性に優れ、次の世代につながる美術館をめざします

### 敷地の概要

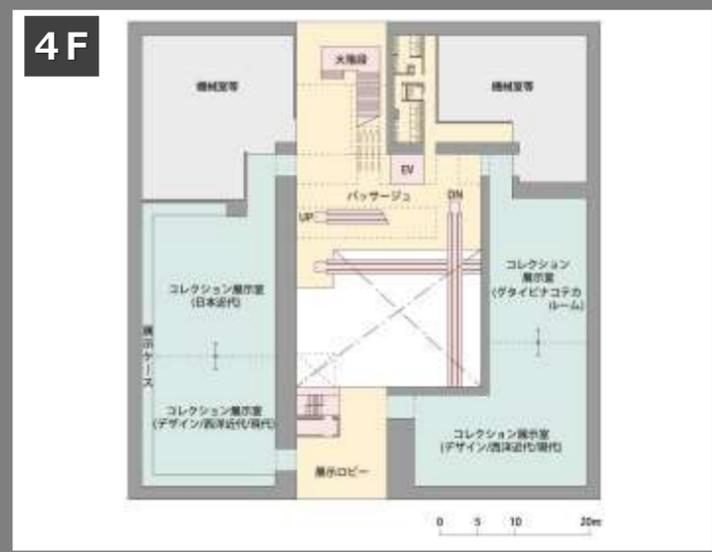
所在地：大阪市北区中之島4丁目  
敷地面積：12,874m<sup>2</sup>  
用途地域：商業地域

### 建築の概要

階数：地上5階建て(地階なし)  
延べ面積：17,305m<sup>2</sup>(駐車場・駐輪場は除く)  
最高高さ：39.05m  
構造：鉄骨造/基礎免震

### 設備の概要

熱源：電気・ガス・地域熱供給(水蓄熱槽併用)  
消火設備：ハロゲン化物消火設備(展示室・収蔵庫)  
その他：太陽光発電設備・LED照明等



## 主要室の面積

階	主要室	面積 (m <sup>2</sup> )	備考
【1階】	サービス施設	712 m <sup>2</sup>	カフェ等
	講堂	416 m <sup>2</sup>	約300席
	研修室	136 m <sup>2</sup>	
【2階】		<b>2,647 m<sup>2</sup></b>	
主要室	サービス施設	221 m <sup>2</sup>	カフェ等
	キッズスペース	87 m <sup>2</sup>	
	アーカイブ閲覧室	70 m <sup>2</sup>	
【3階】		<b>3,082 m<sup>2</sup></b>	
主要室	収蔵庫	1,992 m <sup>2</sup>	収納棚
	一時保管庫	270 m <sup>2</sup>	
【4階】		<b>3,258 m<sup>2</sup></b>	
主要室	コレクション展示室 (日本近代)	438 m <sup>2</sup>	可動間仕切り・壁付展示ケース
	コレクション展示室 (デザイン/西洋近代/現代)	775 m <sup>2</sup>	可動間仕切り・壁付展示ケース
	コレクション展示室 (グタイピナコテカ)	309 m <sup>2</sup>	可動間仕切り
【5階】		<b>3,389 m<sup>2</sup></b>	
主要室	企画展示室	1,377 m <sup>2</sup>	可動間仕切り
	コレクション展示室 (テーマ) ※企画展示室として利用可	448 m <sup>2</sup>	可動間仕切り
【塔屋階】		<b>94 m<sup>2</sup></b>	
合計		<b>17,305 m<sup>2</sup></b>	

※駐車場・駐輪場は別途

## 公募型設計競技から魅力・デザイン向上のために見直した内容

### ▶ 公募型設計競技（設計コンペ）時の審査評価会議委員からの意見を反映

- ・建物の北側にデッキを設置し、多様なアクティビティに対応するフラットな屋外広場（1,000m<sup>2</sup>以上）を2階レベルで確保
- ・コレクション展示室（テーマ）を企画展示室のある5階に変更し一体的利用を可能にするるとともに、展示室や収蔵庫への来館者や作品の動線を再整理
- ・災害時におけるBCPを考慮し、熱源として電気・ガス・地域熱供給を確保

### ▶ 設計コンセプトの明確化

- ・黒い直方体が浮かび上がるような外観をより強調するため、ガラスカーテンウォール等のデザインを見直し
- ・吹抜けを十字型に貫くようエスカレーターを配置し、4階と5階の展示室をつなぐ大階段を新設するなど、立体的につながるパッセージ空間のダイナミックさを演出

## 開館までのスケジュール



※3階には収蔵庫があるため、セキュリティ面から非掲載としています